

新しい時代に挑む

自然災害などから市民の生活を守るほか、人口減少や少子化の克服に向けた「こども施策の充実」、ニューノーマルに対応した「デジタル化の加速」など、新しい時代に挑みます。

地方創生

人口減少社会を迎え、生産年齢世代の減少で経済規模が縮小したり、高齢化率の上昇で社会保障費の負担が増加したりすることが懸念されています。

松山市でも2010(平成22)年以降人口減少が始まっており、2016(平成28)年1月に本市の目指すべき人口の将来展望などを「松山市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で描き、人口減少対策の基本的計画「松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

本市の特色や実情に応じてさまざまな取り組みの結果、地方創生の意識や活動が根付いてきています。一方、全国的な傾向と同様に本市でも出生数は減少しており、地域への愛着を高めて人口流出を防ぐなど、引き続き対応が必要です。

そのため、2020(令和2)年4月から5年間の基本目標や施策を掲げた「第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生をさらに充実・強化していきます。

令和7年度からの次期総合戦略は、第7次松山市総合計画と統合し、地方創生の取り組みをさらに推し進めていきます。



松山市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

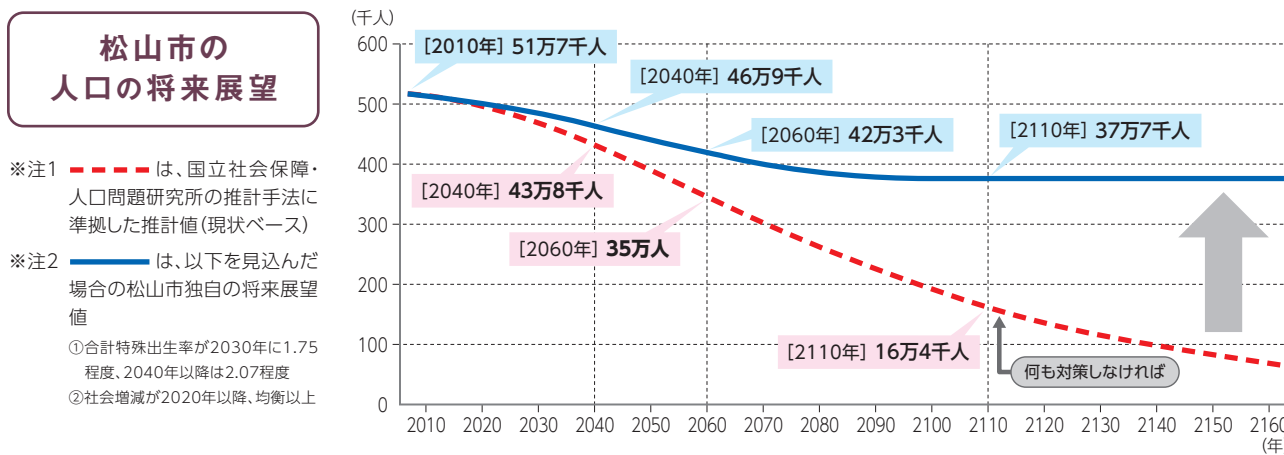
目指すべき将来の方向

I. 人口減少問題の克服

- 合計特殊出生率を2030年に1.75程度、2040年以降は2.07程度に
- 2020年以降は社会増減を均衡以上に

II. 人口減少社会への適応

- 2060年まで市内総生産1.6兆円程度を維持



第2期松山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020~24年度)

基本姿勢

- 徹底した市民目線
- オール松山で連携・協働
- 新しい時代の流れを力に

基本方針

- | | |
|-------|--------|
| ① 自立性 | ④ 直接性 |
| ② 将来性 | ⑤ 結果重視 |
| ③ 地域性 | |

基本目標

- つながる未来を応援する(少子化対策)**
合計特殊出生率…1.40(平成30年)→1.58(令和6年)
- 松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)**
社会移動数…△74人(平成27年~令和元年の平均)→均衡以上(令和2~6年の平均)
- 魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)**
市内総生産…1.6兆円(平成28年度)→1.6兆円(令和4年度)
観光客推定消費額…788億円(平成30年)→828億円(令和6年)
- 住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)**
中央商店街への来街者数…105,620人(平成30年度)→107,120人(令和6年度)
今後も松山市に住み続けたいと思う市民の割合…86.0%(平成30年度)→88.5%(令和6年度)

少子化対策と子育て環境の充実

子ども医療費無料化を18歳まで延長

令和5年12月から子ども医療費助成の対象年齢を18歳の年度末まで拡大し、子育て家庭の経済的な負担を減らすほか、病気の早期発見や治療を支援します。

妊娠・出産を支援

出産や育児の不安を減らし、安心して子育てができる環境を整えるため、相談、訪問指導、健康教室などを行うほか、「すくすく・サポート」で、保健師などが全ての妊婦と面談して、産前・産後をサポートし妊娠前から切れ目なく支援します。また、妊娠や出産・育児の相談ができる機会を増やすなど、妊娠届出時から、妊婦や子育て家庭に寄り添い「伴走型相談支援」を充実します。



ヤングケアラーの支援体制を強化

専門の相談窓口を設け、ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、相談対応や学校などの関係機関と連携し、ヤングケアラーの早期発見と適切な支援につなげます。また、ヤングケアラーの負担軽減につながる公的サービスの利用調整や家事援助ヘルパーの派遣などを行います。

交通の利便性向上とまちのにぎわい創出

松山市駅前広場整備

公共交通の利便性を高め、中心市街地ににぎわいをつくるため、令和8年秋の完成を目指して市駅前広場を整備します。また、放置駐輪対策で中ノ川通りや市役所第4別館前に駐輪場を整備します。



動物愛護施設を整備

令和6年3月に松山総合公園に「はびまるの丘(松山市動物愛護センター)」が完成しました。動物の収容環境を充実させるとともに、動物愛護をさらに啓発し、人と動物が共に暮らせるまちづくりを目指します。

経済の活性化と雇用環境の整備

スタートアップ支援を強化

社会課題を解決しながら経済活性化をけん引し、急速に成長することで、多くの雇用を生み出すスタートアップを創出します。スタートアップと連携し市内企業が持続的に成長するため、総合サイトを立ち上げるなど、学生の起業や市内企業とのマッチングを支援します。



人材の確保や育成に取り組む企業を支援

人材不足や物価高騰など厳しい経営環境の中でも、人へ投資し、成長しようとする企業を後押しするため、大切な経営資源である従業員の確保や育成を支援します。

安全・安心で持続可能なまちづくり

ゼロカーボンシティ松山の実現

太陽光発電や蓄電池システムなどの設置、電気自動車や燃料電池自動車の導入に補助するほか、太陽光発電を生かした電気自動車のカーシェアリングの実証を行うなど、暮らしの脱炭素を進めています。これらにより、市内の二酸化炭素排出量を削減し、2050年に温室効果ガス排出量「実質ゼロ」社会を目指します。

ふれあい収集

市内全域でゴミ出しが難しい高齢者などを対象に自宅前まで市職員が訪問してゴミを収集する「ふれあい収集」を行っています。ゴミ出しの負担を減らすほか、必要に応じて声掛けし、孤立化を防ぎます。



子育て世帯の移住促進

子育て世帯の移住を促すため、県外から移住する人の引っ越し費用の一部を補助しています。また、子育て世帯で移住を検討している人へ、積極的に情報を発信し、子育て世帯から「選ばれるまち」を目指します。